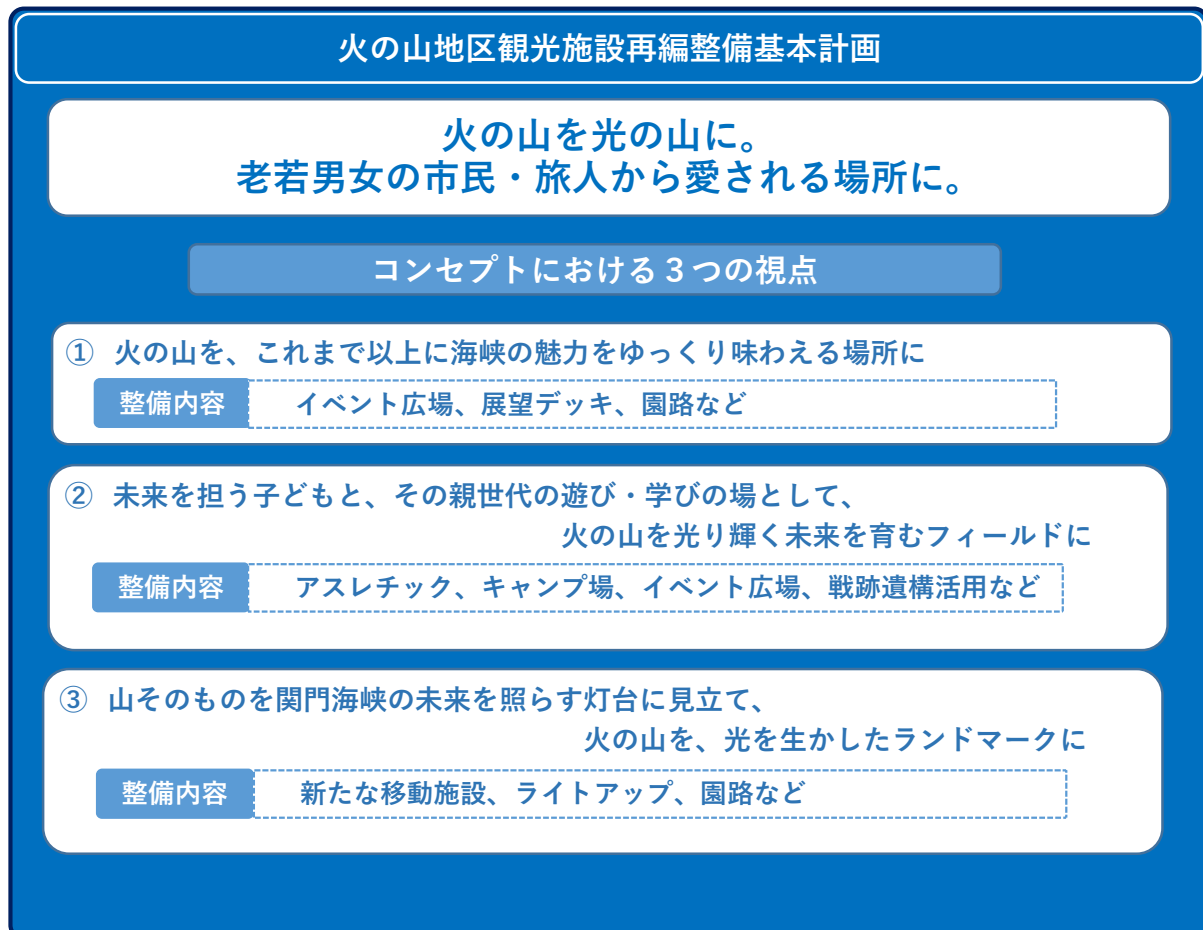
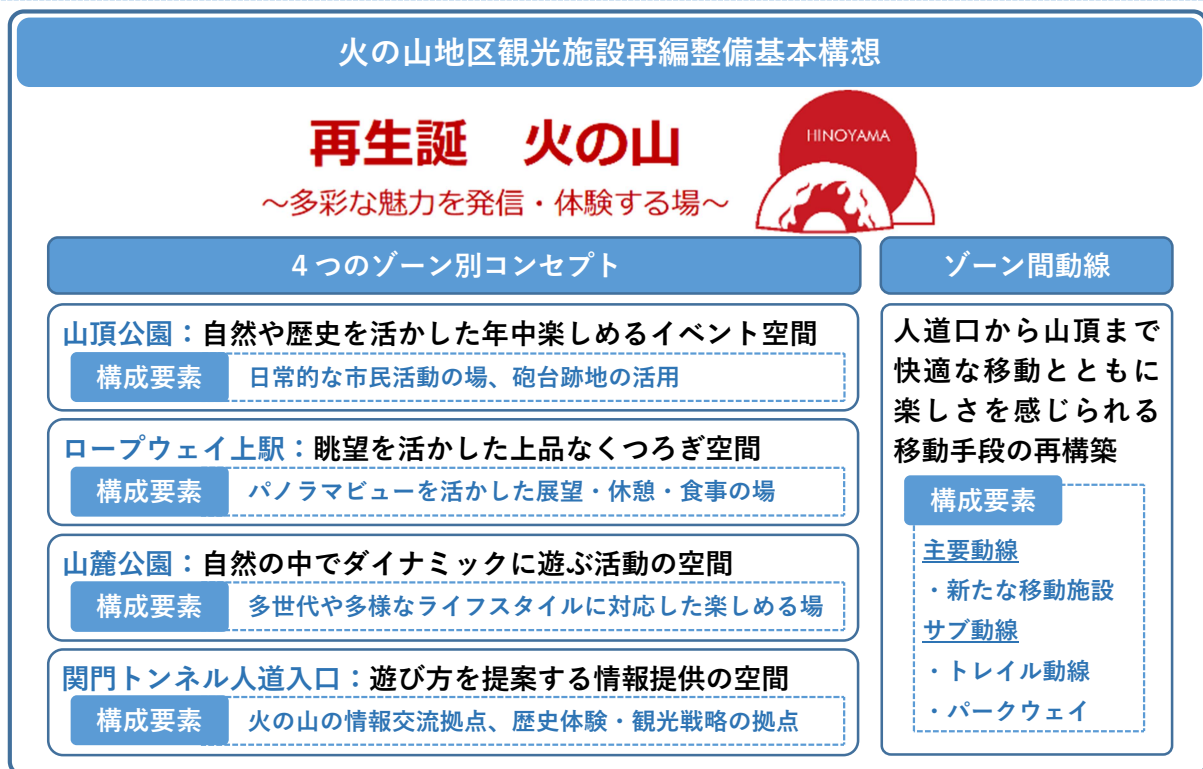


2. 再編整備の方向性

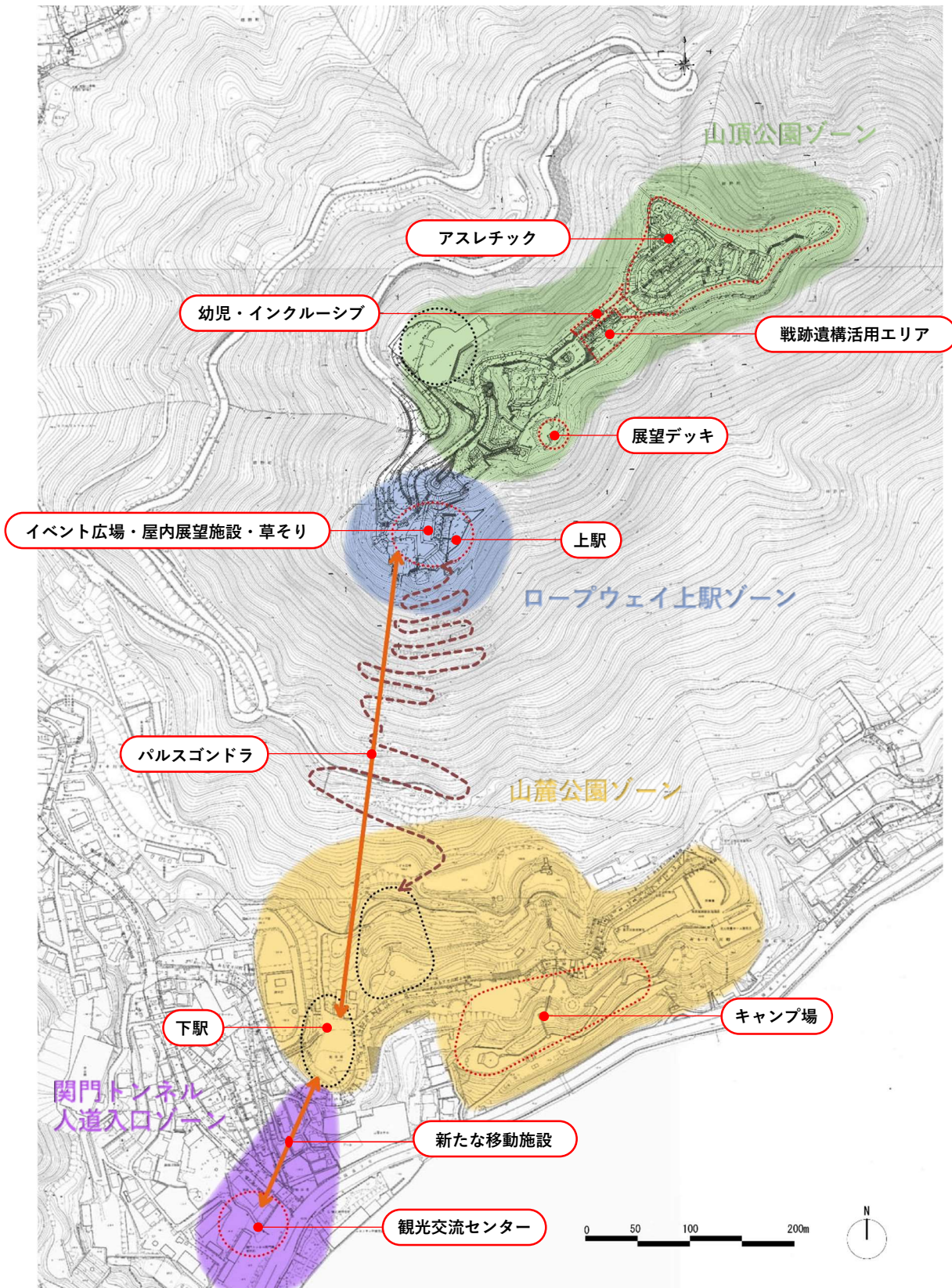
(1) 基本計画コンセプト



3-2. 地区内整備計画

(1) ゾーンニング

ゾーンごとの眺望と自然環境、歴史的遺産など、地区内の豊富な資源を最大限に活かし、「ゆとりある空間」「にぎわいの空間」「遊びと学びの空間」などの多様な空間を創出し海峡エリアの更なる魅力づくりを行う。



① 山頂公園ゾーン

「自然や歴史を生かした年中たのしめるイベント空間」

アスレチック

国立公園、鳥獣保護区、埋蔵文化財があることを勘案し、戦跡遺構や自然のままの起伏、樹木等を活かした遊具や園路の整備を行う。

歴史遺構活用エリア

歴史遺構を活用しながら休憩できる空間整備やイベントなどに対応できる広場整備を行う。

展望デッキ

山頂の豊かな自然や四季を感じながら、市民・観光客が憩うことが出来る新たな視点場の整備を行う。

② ロープウェイ上駅ゾーン

「眺望を活かした上質なくつろぎ空間」

屋内展望施設・イベント広場・草そり、上駅

優れた景観の中で、自由で上質な時間を過ごすことが出来る開放感のある施設整備を行う。

③ 山麓公園ゾーン

「自然の中でダイナミックに遊ぶ活動の空間」

キャンプ場

関門海峡に面したダイナミックな眺望や市街地から近い立地を活かし、多様な利用ニーズに対応したキャンプ場整備を行う。

下駅・山麓公園

新たに整備するパルスゴンドラの利用を促進し、各施設への回遊性の向上を図るため、下駅周辺に駐車場の整備を行う。

④ 関門トンネル人道入口

「遊び方を提案する情報提供の空間」

観光交流センター

火の山地区の玄関口として火の山地区の魅力を発信したり、歴史散策や眺望を楽しめる交流の場の整備を行う。